

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
資料配布

配布日時	平成17年3月 9日 16時00分
------	----------------------

件名	紀の川大堰の魚道でアユの遡上（第1段） （平成17年3月 8日に右岸階段式魚道 でアユの遡上始まる。）
----	-----------------------------------------------------------

概要	<p>紀の川大堰では、アユの遡上時期を迎え、3月1日より魚道において遡上調査を行っており、3月8日に104尾（2時間調査）のアユの遡上を確認しました。</p> <p>今後、本格的な遡上の時期を迎えます。和歌山河川国道事務所では引き続き調査結果を報告してまいります。</p> <p>また、アユの遡上状況は紀の川大堰に併設している『魚道観察室』でご覧頂けます。</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

取り扱い	テレビ・ラジオ : _____ 新聞 : _____
------	-------------------------------

同時配布	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
------	----------------------------------------------------------------------

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 TEL 073-424-2471 (代) 河川副所長 <small>むれ</small> てるひさ 牟禮 輝久 (内線204) 調査第一課長 <small>やなせ</small> かつひさ 柳瀬 勝久 (内線351)
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 紀の川大堰の魚道でアユの遡上始まる

(平成17年3月 8日に右岸階段式魚道で  
アユの遡上を目視確認しました。)

### 概要

○紀の川大堰は、和歌山市有本地先に位置し、平成15年6月から暫定運用を開始しています。

○紀の川大堰の魚道において、今年初めてのアユの遡上を3月8日に目視で確認しました。

注1)「アユの遡上確認」とは、1時間あたり10尾以上遡上した場合としています。

○アユの遡上状況は、紀の川大堰に併設している魚道観察室でご覧頂けます。

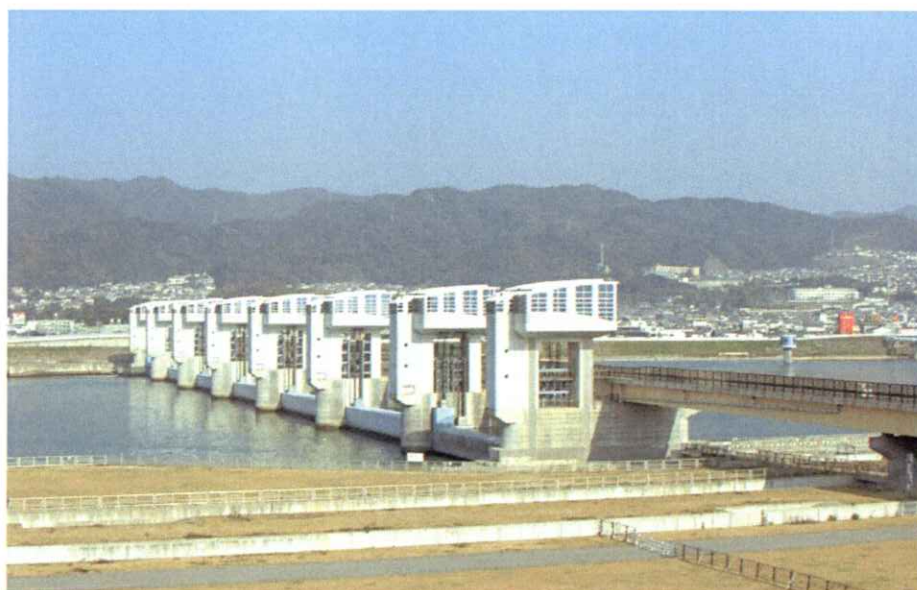
注2) 魚道観察室の開館時間は9:00～16:30となっています。

### ○遡上確認状況

調査箇所	紀の川大堰の左岸及び右岸階段式魚道	
調査実施者	国土交通省 和歌山河川国道事務所	
調査方法	目視調査	
確認日時	3月8日(火) 16:00～18:00	
遡上尾数	右岸魚道	<u>103尾</u>
	左岸魚道	<u>1尾</u>

## 紀の川大堰の紹介

紀の川大堰は、平成15年6月から暫定運用を開始しています。紀の川大堰は川の水量調節機能の高い「可動堰」で、洪水時にはゲートを引き上げて、安全に水を流下させます。また、紀の川の水は流域の都市用水、農業用水として広く利用されており、紀の川大堰はこれらの需要に安定的に水を供給する施設でもあります。



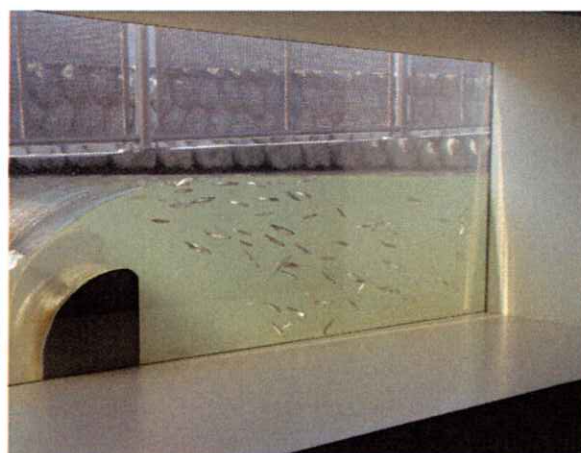
紀の川大堰全景

## 魚道の紹介

紀の川大堰には、左右岸に各3種類、合計6基の魚道があり、その一つ左岸の階段式魚道には、真横から魚が遡上する様子を見れる魚道観察室があります。



魚道観察室



アユ遡上状況（魚道観察室内、平成16年4月）



### 3種類の魚道紹介

#### 1. 階段式魚道

現在日本で最もポピュラーでアユに対して多くの遡上実績があります。

#### 2. デニール付バーチカルスロット式魚道

デニール式とは、1つの断面の中で低流速から高流速まで流速分布が広く、魚は遡上可能な経路を選択できます。また、バーチカルスロット式は、魚道内の流速が河川水位そのもの（あるいは流量）の影響を受けず、プール間の水位差のみで決まるという特徴があります。水位変化の大きいところに適しており、サケ、マス類等の比較的早い流速を好む魚を対象としています。なお、底生魚にも配慮して潜孔を併設しています。

#### 3. 人工河川式魚道

勾配をゆるくし、自然の河川に近づける工夫をされており、遊泳力の弱い魚種をはじめ全ての魚種を対象としています。また、アユの産卵床としても使用が可能です。



紀の川大堰の3種類の魚道



階段式魚道



人工河川式魚道



デニール付バーチカルスロット式魚道

## 過去の遡上状況

### ○紀の川大堰付近における過去5年の遡上確認日及び確認場所

目視遡上確認日	最終遡上確認日	確認場所
H12.4.5	H12.6.3	新六ヶ井堰魚道
H13.4.6	H13.5.28	〃
H14.4.6	H14.5.23	〃
H15.3.29	H15.5.26	〃
H16.3.24	H16.5.19	紀の川大堰魚道
H17.3.8	—	〃

### ○アユの遡上推定量（尾）（過去の10年間）

調査年度	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
魚道遡上量	81.1万	19.5万	27.0万	15.6万	90.9万
すくい越し量	53.0万	32.8万	10.3万	6.8万	10.5万
合計	134.1万	52.3万	37.3万	22.4万	101.4万

調査年度	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
魚道遡上量	33.1万	25.0万	76.6万	14.7万	95.8万
すくい越し量	20.1万	4.8万	12.8万	7.3万	—
合計	53.2万	29.8万	89.4万	22.0万	95.8万

\*調査は平成15年度まで新六ヶ井堰（魚道と業関係者が実施しているすくいごし）、平成16年度からは紀の川大堰魚道で実施しています。